

松陵

秋田県立能代高等学校
同窓会事務局

〒016-0184 能代市字高岡2-1
能代高校内

TEL 0185-54-2230

FAX 0185-54-2231

題字は元会長神馬恒成氏

印刷所 (株)北羽新報社



同窓会員の皆様へ

同窓会長 森田 新一郎

(40期)

八峰町長を務めてから早いもので1年半が経過しました。同窓会長を引き受けた際にも、人生において勇気を出して一歩前へ出る、とまるで違う風景が見えてくることを体験しましたが、首長の場合は、八峰町という小さな町であつても、これまでとは比較にならないくらい違う風景を実感しております。国会議員と直接電話でお話ししたり、毎月のように毎日、懇親会付きの会合に招かれたり、政府への要望活動等で県外出張が頻繁にあったり、高齢者と呼ばれる領域に入ってから人生で初めてということの連続です。これまで人生のピークだと思ってい

ましたが、実はそうではない、健康であれば、知識、経験、人脈などのモノサシで考えれば70歳から75歳くらいが人生のピークであり、私はまだまだ発展途上ではないかと考えるようになっていきます。さて、軟式野球部は2年連続19回目の全国大会へ出場しました。数々の実績を残した今、監督からバトンを受けた若い井川監督が監督1年目で全国大会へ出場という快挙を遂げました。全国大会では鹿児島実業に惜敗してしまいましたが、選手、監督ともによく頑張ってくれました。全国大会に向けた寄付金活動に協力してくれた皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。また硬式野球部は県北大会で準優勝し全県大会へ出

合計225名の皆様を同窓会にお迎えしました。

今年の入会式は43期の加賀義章氏の進行で五十嵐馨氏が激励のあいさつ、私が八峰町議会初日の本会議のため39期の山本達行副会長が歓迎のあいさつをし、男子125名、女子100名の



「十里強歩大会」のこと

校長 山田 浩 充

(50期)

同窓会の皆様には、常日頃から母校を温かく見守り、心強い応援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、今年も本校の伝統行事である「十里強歩大会」が無事に進行されました。秋田県内では、今年も人里への熊の出没が頻繁にあり、人が襲われるという被害も出ていることから、こうした行事等を取り止めるケースも出ています。強歩大会が行われる頃には、能代市内でも熊の出没に注意を促す防災無線が流されていました。学校としては、生徒の安全確保を第一に、本校の三大行事である強歩大会の存続を図りたいと考えています。今年も同窓生を含む保護者の皆さんや、地域の皆さん、の献身的な協力のもと、無事に強歩大会を終えることができました。

私も在学中の三年間、この十里強歩大会に参加しました。私たちの頃は、森岳経由のコースしかあ

りませんでした。その年ごとの思いや出が、おそろしく同窓生の皆さんも、この行事にはそれぞれの思いがあると思います。

この十里強歩大会の始まりは、戦前の昭和十三年だと言われているが、当時十里とは言われ、能中の十六里行軍と言われ、今よりもかなり過酷だったようです。戦争で中断され、後に十里強歩として復活したようですが、生徒たちの頑張り姿への保護者の皆さんや地域の皆さんの暖かいまなざしは、長い年月を経ても変わらないうです。

今年で七十二回目を数えた伝統行事……途中、激しい雨に見舞われましたが、今回も参加したほとんどの生徒が完歩してくれました。天候に大きく左右される行事ですが、できることなら三年に一度くらいはあの夜空に広がる「満天の星」を生徒たちに眺めさせてあげたいものです。

令和2年

能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

◎日時 令和2年1月25日(土)

講演会 午後4時

講師 納谷建築設計事務所

納谷 学 氏(49期)

演題 「秋田杉の可能性」

懇親会 午後5時

◎会場 プラザ都(能代市柳町)

電話(0185)54-2244

◎会費 5,000円(当日持参)

※当番幹事は49期・59期です。

参加申し込みは同窓会事務局または各

期幹事へ連絡してください。

同窓会事務局(能代高校内)

電話(0185)54-2230

FAX(0185)54-2231

同窓会総会報告

今年の同窓会総会は創立記念日9月22日の前日21日(土)午後4時にプラザ都で開催された。今年度の当番幹事は49期と59期。物故同窓生への黙祷のあと49期高嶋祐基氏の司会で進行された。

今年1月の新年祝賀会が130名余というこれまで最大人数だったため今回は出席者が少ないように感じたが、午後5時頃から始まった懇親会からの参加者もいて、例年通りの参加数となった。

例年は総会の席で「グローバル基金の活用報告」として無線部の「ARDF(アマチュア無線方向探知)」の世界大会



懇親会の冒頭で校歌斉唱(4番まで)

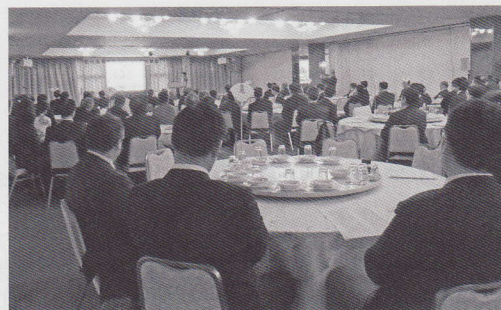
等への参加報告」が行われるのが恒例となっており、今年もアジア・オセアニア大会への出場資格を得ていたのだが、開催国である中国の政情不安から大会そのものが中止となり、総会は30分ほどで終了した。

懇親会は校歌斉唱で始まり、森田新一郎会長(40期)、山田浩充校長(50期)の挨拶があった。今回は新制1期(19期)の参加や東京同窓会、秋田支部からの参加もあり、久しぶりの再会で盛り上がった。

恒例の東雲羊羹の贈呈は、33期が9名で1位。49期が7名で2位、40期が5名で3位となり、新制1期(19期)の菊地武男氏、東京同窓会から参加した会長三浦洋氏(45期)と副会長吉田真由美氏(46期)の3名には特別賞として東雲羊羹が贈られた。

新年祝賀会報告

新年祝賀会は平成31年1月19日(土)午後4時から能代市柳町のプラザ都で開催された。新年祝賀会では講演会を最



平成最大人数で講演を開く。
スクリーンが小さく見える。

初に行うのが恒例となっており、今回は48期小林真氏(北秋田市小林眼科医療院長)が「ネパール眼科医療活動支援(アイキャンブ)」についてと題して画像を沢山使って説明した。ネパールとはどういう国か?から始まり、ネパールの医療の現状、眼科医療支援アイキャンブとはどんなことをするのか?これまでどんな活動をしてきたのか等を話した。ネパールは寒い国というイメージが強いが、緯度は奄美大島と同じ、気候は亜熱帯という。小林真氏が紹介した画像は、小林眼科医療のホームページで閲覧することが出来る。そこには今年も2月にノードラ地区でアイキャンブを実施したという報告が掲載さ

事務局からのお知らせ

一昨年から、同窓会年会費とグローバル人材育成基金のご寄付について、コンビニでも納入できるようにいたしました。その関係から、同窓会年会費は2,000円、グローバル人材育成基金は1,000円と、それぞれの納入用紙に1口分の金額を印刷しております。複数口のご入金をいただける場合は、金額欄を訂正のうえ、コンビニではなく郵便局からご納入いただきますようお願いいたします。

若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業の活用について

同窓会長 森田新一郎

一昨年の同窓会本部総会で、「若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業」を創設しました。毎年、卒業式の前日、3月1日にその年の卒業生を同窓会に迎える「同窓会への入会式」を行っていますが、その後の卒業生と同窓会との接点がほとんどなく、本部や支部の総会等へも若手同窓会員の出席がほとんどないことを踏まえ、若い段階から同窓会活動や同窓会の雰囲気等を体験できるようにし、同窓会への理解を促進するためであります。

各支部の総会等へ出席した本部役員からこの事業について紹介したり、同窓会会報「松陵」でPRするなどの取り組みを進めてまいりましたが、事業開始2年目に当たる昨年度においても、残念ながら活用事例がゼロという結果になってしまいました。

若い同窓会員に同窓会の雰囲気を早めに経験していただくという方向性は正しいと思いますので、令和元年度こそは活用事例を誕生させたいと考えております。

同窓会本部の役員会でも対応を協議したところですが、これまでの能代高校卒業後10年間ということ、何期から何期までの卒業生ということがわかりにくいのではないかとということになり、令和元年度からは、この事業の対象者を満30歳以下とすることといたしました。

各支部におかれましては、ぜひ本事業を活用していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、助成金の申請については、原則として総会等の終了後、総会等の開催案内文と卒業した期がわかる出席者名簿を能代高校内の同窓会事務局に提出していただければOKですので、よろしくお願い申し上げます。

平成31年3月卒業生 進路状況一覧

生徒数		男	女	計
		125	100	225
大学	国公立	33	32	65
	私立	49	47	96
短大	国公立	2	3	5
	私立	1	3	4
専修・各種学校		6	5	11
就職		18	2	20
その他		16	8	24

会 計	校 報	監 査	副 会 長	顧 問
伊須柳大伊小	中工塚泉袴山柴森田佐々木	嶋藤本 田本田田中	日敏恵牧俊達寛新仁	吉弘子子英行彦郎純満
勢磨谷山藤林	嶋藤本 田本田田中	日敏恵牧俊達寛新仁	吉弘子子英行彦郎純満	吉弘子子英行彦郎純満
奈知麻義孝勝	嶋藤本 田本田田中	日敏恵牧俊達寛新仁	吉弘子子英行彦郎純満	吉弘子子英行彦郎純満
緒里子勇義平	嶋藤本 田本田田中	日敏恵牧俊達寛新仁	吉弘子子英行彦郎純満	吉弘子子英行彦郎純満
(72期)	(61期)	(61期)	(56期)	(33期)

恒例の東雲羊羹贈呈は幹事期である58期が44名で1位、同じく幹事の48期が43名で2位、33期が8名で3位だった。

れている。「北秋田市小林眼科医医院」で検索すれば閲覧出来る。

同窓会会計報告

□ 平成30年度分

(平成30年9月1日から令和元年8月31日まで)

Ⅰ. 経常費

収入の部

項 目	30年度予算額	30年度決算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	762,199	762,199	0	
2 入会金	1,620,000	1,620,000	0	7,200円×226名
3 会費	1,700,000	1,509,000	△ 191,000	郵便局995,000円、コンビニ476,000円職員38,000円
4 寄付金	1,000	0	△ 1,000	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	801	12,009	11,208	預金利息、新年会残金、雑収入
合 計	5,084,000	4,903,208	△ 180,792	

支出の部

項 目	30年度予算額	30年度決算額	比較増減	摘 要
1 会議費	300,000	320,369	20,369	各支部総会出席費用等
2 慶弔費	10,000	11,340	1,340	
3 卒業関係費	100,000	92,847	△ 7,153	入会記念品
4 通信印刷費	1,500,000	1,371,213	△ 128,787	会報印刷・発送費、はがき、新聞広告
5 事務費	50,000	0	△ 50,000	
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	
7 同窓会活動参加促進事業	700,000	0	△ 700,000	
8 事業費	30,000	22,032	△ 7,968	インターネット利用料
9 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	
10 会費振込手数料	110,500	98,228	△ 12,272	郵便局60,904円、コンビニ37,324円
11 予備費	283,500	192,672	△ 90,828	生徒用椅子
合 計	5,084,000	4,108,701	△ 975,299	

〔差引残高〕[収入] 4,903,208 - [支出] 4,108,701 = 794,507(次年度への繰越金)

Ⅱ. 基金

種 類	平成30年度決算	平成29年度決算	摘 要
1 秋田銀行積立	31,679,040	31,676,358	利息2,682円
2 秋田銀行定期	892,497	892,421	利息 76円
3 秋田銀行定期	1,007,228	1,007,143	利息 85円
4 秋田銀行普通	2,125,413	2,125,401	利息 12円
合 計	35,704,178	35,701,323	

□ 平成30年度グローバル人材育成基金会計 (令和元年8月31日現在)

収入の部

項 目	30年度決算額	摘 要
繰越金	2,000,309	
寄付金	612,000	郵便局407,000円、コンビニ186,000円職員分19,000円
雑収入	18	預金利子
合 計	2,612,327	

支出の部

項 目	30年度決算額	摘 要
事業費	0	
1. 補助	0	
振込手数料	63,885	郵便局39,780円、コンビニ24,105円
合 計	63,885	

〔収入総額〕 2,612,327 - 〔支出総額〕 63,885 = 〔残高〕 2,548,442 (次年度繰越金)

我が校の

「凱歌」のルーツは18世紀のオペラだった



第30期（新制12期）

工 藤 茂 宣

筆者略歴

- ・昭和35年能代高等学校卒
- ・昭和41年弘前大学医学部卒
- ・昭和46年弘前大学大学院医学研究科修了
- ・昭和55年工藤泌尿器科医院開設
- ・「能代寮歌を愛する会」会長

まず、我が校の校章や応援歌などから導入することとする。

I 戦後の我が校の校章について

この小題については、戦後長年、校章のデザインの考案者が不明とされていた。筆者があたりこち当時の関係者に聴いて調査し、デザインの考案者は菊地哲雄氏（故人・S24年卒・19期生（新制1期））と判明した。H15（2003年9月15日）の、料亭「金勇」での同窓会総会において承認されている。詳細はH17（2005）年9月17日発行の「松陵八十年」に筆者が記している。

II 我が校の応援歌のルーツ全般について

まず、この小題については、筆者が「能代高校同窓会報松陵」のH10（1998）年12月の第10号、H11（1999）年12月の第11号、H12（2000）年12月の第12号に記している。以後約20年経っているために敢えて記す。①応援歌「戦わん哉」は、旧制第四高等学校（金沢市、以下ナンバー制の名称の旧制高等学校はナンバーで記す）の「南下軍の歌」が元曲。作詞者は旧制能代中学以下、能中と記す）の能代市柳町在住の久喜健男氏（S14卒・10期生）ら有志で「松陵健児」を造語したのも久喜氏らである。現在の歌詞は少し変えられて

いる。②応援歌「北羽に吠ゆる」は、六高（岡山市）の「新潮走る」が元曲。③「凱歌・天馬空征く」は、一高水泳部部歌の「狭霧はれゆく」が元曲。④応援歌「日本海」の作詞者は能中6期生の佐藤二郎氏、作曲者は音楽の先生。⑤「遠征歌・潮騒さゆる北海の」には、S3年〜7年まで能中に在職した、作詞者の四高出身の英語の先生であった二宮龍雄先生（故人、本校同窓会誌の童夫は誤字）が、ご自分が四高で作詞した寮歌「あゝ、幽明の」歌詞の一部から「潮騒さゆる北の海（能中では「潮騒さゆる北海の」として）を、遠征歌「滄溟千里」から「誰かとゞめん若人の／嵐に向ふ熱血を」を入れた。作曲者はS3年〜8年

まで能中に在職した、当時野球部部長の山上可也先生（故人）。⑥「逍遙歌・洛陽寒く／黄昏て」は、曲も歌詞も四高の「剣道部優勝歌」をそっくり拝借したものである。

III 我が校の「凱歌」のルーツが一高の「狭霧はれゆく」だと気付いたきっかけとその後

我が校の「凱歌」天馬空征く／雄たけびに／燃ゆる健児の／意気の火や／宴にけがれし／巷をよそに／春秋きたへし／腕によりて／誉れは高し／優勝旗（2番まであり）のルーツが一高（東京大学教養学部的前身）の水泳部部歌「狭霧はれゆく」（以下、「狭霧」と記す）であるのに気付いたきっかけを記す。

多分H8（1996）年の後半か9年の初め頃だったと思う。ある方から頂いた一高のある方の追悼寮歌のビデオテープ（VHS）を観ていて「あれっ」と気が付いた。メロディーが我が校の「凱歌」にそっくりではないか。ただし、歌詞は「凱歌」が五行で「狭霧」は七行である。検討するに、「狭

霧」のメロディーの三、四行目は一、二行目の繰り返しであった。

そこで、H9（1997）年5月16日の料亭「金勇」での第18回能代寮歌を愛する会（以下、能代寮歌と記す。寮歌愛好家を招く会のほかに能代会員だけの会も行っている、この文での第〇回は連続していない）から初めて寮歌プログラムに「狭霧」と「凱歌」の両方の歌詞を載せ、関東・関西からの寮歌愛好家達の中の、一高OBの方二人に先に「狭霧」を歌っていただき、続いて当時の宮腰洋逸能代市市長（故人）の「母なる歌、父なる歌を聞かせていただいた」との挨拶の後「凱歌」を歌ったのであった。その後毎年必ず「狭霧」のあとで「凱歌」を歌うのを定番としていた。ちなみに「狭霧」の歌詞の一番は、狭霧はれゆくあかつきの／鏡が浦の浦風に／白帆かゝけて漁人（ふなびと）の／雄々しき今朝の船出哉／我らもさらばとく起きて／清き波間に浮かびては／健児の歌をうたはずやである。3番まであり。後述Vの森下達郎氏の文献によれば、鏡が浦とは千葉県館山湾の

別称であるという。さらに詳しくは、同じくVの「語り継ぎたい東大水泳部の歴史」では、館山湾の中の北条海岸という。まず最初に疑問に思ったのは、どなたがいつ頃能中に「凱歌」をもたらしたかであった。大瀧清氏（故人…一高S25年文科卒）の大変な協力で調べてみたが、結局は分からずじまいに終わった。

能中はT14（1925）年4月に第1期生が入学している。「狭霧」はM43（1910）年に作られている。前述IIの①に記した久喜健男氏からのお手紙では次のごとくであった。現在の「凱歌・天馬空征く」はS9（1934）年入学時には応援歌として教えられた。作詞者は能中の先生と聞いたがプリントも紛失、氏名も失念した。凱歌としては、日本海の荒波の／燃ゆる血潮のしづき浴び／雄図めざして今立てり／健児征馬のゆくところ／敵城潰えて影もなし／勝利勝利／誉れは高し我らが選手 がS9年の秋か10年の春に新作として発表された。なるほど歌詞は凱歌である。筆者が能代高に入学したS32（1957）年にはこの歌

は「日本海」と題する応援歌であった。

その後、能代寮歌では一高・東大OBの方々に「狭霧」を先に歌っていただき、その後能中卒と能代高卒の能代会員が「凱歌・天馬空征く」を歌うという進行を何の疑問もなく毎年繰り返してきた。一高・東大OBの方々からは、異見は全くなかった。

IV 島崎誠一氏の疑問

H29（2017）年6月14日の第57回能代寮歌に島崎誠一氏（S35年東大入学・合気道部・工S40年卒）や山成喬彦氏（S35年東大入学・合気道部・農・水産S40年卒）らが初参加した。ところがである。同年10月に、島崎氏が一高の「狭霧」が遠く秋田の能代で歌われていることに驚きと感謝の気持ちを示しながらも、「『狭霧』と能代高の『凱歌』とは微妙にメロディーが違う」と言い出し、①「狭霧」が何らかの形で能中に伝わったか②原曲が、直接或いは別ルートで能代に伝わったことも有り得ると筆者に手紙をよこしたのである。そして、能代での体験

を「秋田（能代）の狭霧はれゆく」として、西伊豆の戸田（現沼津市）に在る東大保健体育寮の一つ、戸田（へだ）寮の寮委員のOB会で、ユーモア的な名称の「バカヤロー」の会員などたくさん仲間を紹介してくださった。音楽に造詣が深い人の知見を期待してのことだったという。筆者は、「S9年（1934）には能中に既にあつたし、能代高校の音楽の先生であつた中田正則先生（故人・S38年卒・33期生）が能代高の『校歌・応援歌集』を採譜・作成したのは今からでも27年前のH2（1990）年3月である。『凱歌』（当時は応援歌）も口伝、口伝を繰り返して、実にS9年から半世紀以上も経った56年後に採譜されている。多少違うのは当たり前ではないですか」と少しつっぱね気味の返事をしつつも、島崎氏と山成氏に中田正則先生が採譜した「凱歌」の楽譜とCDを送ったのであつた。勿論筆者も「狭霧」の楽譜は持っている。

V 「狭霧」の作詞者、編曲者、原曲など

この騒ぎ？に先立って、下田孝氏（S34年東大入学・応援部（筆者注…東大では運動部関係者は入学年度で言うという）は島崎、山成の両氏に森下達郎氏（東大法S34年卒）著の「寮歌研究報告No.113」「一高寮歌解説書の落穂拾い」（その九十三）なる文献を紹介した。そのコピーを両氏が筆者に送って来た、

それによると、M43年作の「狭霧」の作詞者は末弘厳太郎（いづたろう）氏（M41年東京帝大法卒・T2年水泳部師範・東京帝大法学部教授、原曲はC・W・グルックで、編曲は加福均三氏（M39年東京帝大理卒・M43年水泳部師範・台北帝大教授）である。加福氏はグルックのオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」から現在の水泳部部歌を選曲・編曲したとある。筆者が調べてみると、原曲の作者クリストフ・ヴィリバルト・グルック（1714年～1787年。以下、グルックと記す）はドイツ生まれの方であつた。

VI 津田正夫氏は、オペラ観劇中「狭霧」のメロディーが出て来て息を呑んだ

その後、島崎、山成の両氏から下記の同じ資料が届いた。島崎氏によると、後述する林裕三氏（東大S34年入学・水泳部）が下記の津田氏のエッセイを紹介してくれたという。「語り継ぎたい東大水泳部の歴史（日本水泳連盟40年史ほか資料による）」の中の、一高水泳部部史によるとして、津田正夫氏（島崎氏によると、一高T8年卒・T11年京都帝大卒・内務省入省・T12年～S14年ILO在ジュネーブ日本政府事務所に勤務）が「狭霧晴れ行く」と題して以下のように記している。

私が水泳部でその部歌「狭霧晴れ行くあかつきの（筆者注…原文のまま）」を初めて聞いたとき、その歌曲が一高の部歌とは凡そほど遠いものであることを感じ、不思議に思った。明治43年にできたこの部歌の歌詞は末弘先輩（当時水泳部助手）それに加福先輩（当時水泳部師範）が編曲されたと承知しているが、一体どこの誰の原曲からこう云う風

に編曲されたのか、どうにかしてその原曲の作曲者の名を知りたいと思っているうちに、一高、大学を通しての水泳部生活を終わり、直ぐ外国生活をするようになった。

戦前のある年、私はベルリンで、モーツアルト、ベートーベンの先輩のグルック(1714~1787)の歌劇「オルフェオ・ユ・エウリディス」を観劇した。ところがその第三幕の終わりの「恋の凱歌」の合唱であの「狭霧晴れ行くあかつきの」メロディーが出て来た。私は瞬間息を呑むくらい驚いて、暫くは眼前のオペラのことを忘れて了った。

そして、ああ、これなのか、それにしても加福先輩は一体どういう経緯でこれを探り入れて水泳部歌にしたのか、と考えた。その時すでに加福先輩は逝去しておられたのでいろいろの先輩に聞いたが誰も知らない。

この「オルフェオ・ユ・エウリディス」は名歌劇ではあるが、何しろ大作だし、それに上演するに当たっては大がかりの舞台装置が必要なので、どの国のオペラ座でも上演出来るものではない。私も長い

外国生活の下でベルリン、ウィーン、それにブエノスアイレスのコロン劇場で観劇したくらいだ。私はこのオペラを観劇する毎に、その筋などはどうでもいい、ただ第三幕の合唱を聞くのが楽しみで、いつも家妻に、これが水泳部歌だと云って、そのあとは頭の中で八幡の浜を思い浮かべて陶然としていたので、今もってオペラの細かいことは覚えていない。(途中割愛)。併し凡そ寮歌、部歌で外国のオペラのメロディーから採ったものは恐らく我が水泳部歌「狭霧晴れ行くあかつきの」しかないだろう。(以下割愛)。

Ⅶ オペラのあらすじ

なお、「オルフェオとエウリディス」は、グルックが1762年に作曲したものである。スペルの読み方により「オルフェオとエウリディチエ」とも言い、原作はギリシヤ神話である。Wikipeidiaによるあらすじをさらに短縮した内容は以下のごとくである。

【第1幕】オルフェオは毒蛇に咬まれた妻エウリディチエの死に泣き崩れ、連れ戻しに

黄泉の国へ行くと神々に言う。愛の神のとりなしで、神々は彼を憐れみ、彼が黄泉の国に行つて妻を連れて来るのを許す。しかし、何があつても決して妻を振り返つて見てはいけないと厳しく言われる。

【第2幕】嘆きの川の入り口にいる復讐の女神や死霊たちを彼は勇気をもつて堅琴を奏でて静め、エリゼの園で妖精たちと歌っている妻を発見。彼は妻の姿を見えないようにして手を取り地上へ向かう。

【第3幕】エウリディチエは初めのうちは喜んでいたが、オルフェオが自分の方を見ようとしないのに不審を抱き愛が冷めたのではないかと夫に付いて行こうとしなかった。絶望したオルフェオは耐えきれず妻の方を振り向いてしまった。そのとたん、エウリディチエは倒れて息絶えてしまった。オルフェオは嘆き、短剣で自殺を決意する。その時愛の神が現れ、「お前の愛の誠は十分示された」と告げ、エウリディチエは再び息を吹き返す。二人は抱き合つて喜ぶ。オルフェオは羊飼いやニンフたちと共に愛の神に感謝し、エウリディチエも愛の神に感謝し、全員が愛

の神を称える中でオペラが終わる。津田氏と後述の加藤氏によると、この最後の第三幕第二場の合唱が「恋の凱歌」であり、「狭霧」のメロディーが出て来るという。

Ⅷ グルックのオペラ原曲／一高の狭霧／能代の凱歌の比較検討

これらについては、島崎氏ルートと山成氏ルートの二つの分析結果が筆者に寄せられた。

(1) 吉田隆氏の分析と推論

先ず島崎氏ルートである。前述Ⅵの林裕三氏の問いに同期の吉田隆氏(S34東大入学・水泳部)が返信したものである。H29(2017)年10月21日付である。吉田氏は60歳を過ぎて音楽を始めた方であるという。氏は3つの楽譜を音楽理論から分析し次の結論に達したという。

結論…「狭霧」を聴いた方が、その作曲の由来から、グルックの原曲を聴き、自らも編曲に挑戦したものである。その理由①「狭霧」の最後の方の「日頃の意気を示さずや」の部

分は、原曲では、別の場所ですプラノによって歌われている。その部分が両者にあることから、「凱歌」の編曲者(島崎氏注…恐らく能代に關係のあつた方)が事前に「狭霧」を聴いていたことは間違いない。②原曲は「弱起の曲(最初の小節が8分音符のみ)だが、「凱歌」は普通の4/4で始まつており弱起ではない。編曲しようとする方は、弱起かどうかくらいは判る。そこであえて、「狭霧」とは異なる曲にしようと考えた。(以下割愛)。H29(2017)年6月の能代寮歌に参加して「狭霧」と「凱歌」を聴いて両者は微妙に違ふと言ひ出した島崎氏は、吉田氏の結論に納得し、スッキリした感じで満足したという。吉田氏、筆者からもありがとうございました。

(2) 加藤孝雄氏の分析と推論

次に山成氏ルートである。加藤孝雄氏(S36年東大入学・水泳部・工・電子科S40年卒)の分析と推論である。H29年(2017)年12月20日とH30年(2018)年3月7日の日付がある。3月11日に山成氏より筆者に届いた。勿論島崎

氏も入手している。

結論…「凱歌」は「狭霧」に基づいて作成されたものである。ただし、「凱歌」の作曲者がグルックの原曲に接触した可能性は排除できない。島崎氏もこの結論には自分の最初の推測が当たって大満足である。加藤氏は水泳部ゆえ、「狭霧」がグルックのオペラからの編曲であるのは入学早々知っていたが、それ以上は深く考えていなかったと述べても、何とA4判11頁に及ぶ驚くべき工学的比較検討をしている。実は筆者は解ったような、解らないような気がするのみである。紙幅に限りあり、要点のみを簡記する。①調の統一。「グルック」と「狭霧」は二長調、「凱歌」はハ長調なので、「凱歌」を二長調に移調して比較。②拍子の統一。「グルック」と「狭霧」は2/4拍子、「凱歌」は4/4拍子なので、「凱歌」を見かけ上の2/4拍子にして比較。③曲の長さ。「狭霧」は28小節、「凱歌」は20小節であるが、「狭霧」の最初の8小節と次の8小節は繰り返しなので、最初の8小節をないものとして20小節にして対比。④比較単位への分解。氏の考えた工学的比較として、

3曲の中で使われている最も短い単位(16分音符)を用いて全曲を分解してそれぞれの単位音を比較。⑤距離の定義。対比する3曲のそれぞれ対応する16分音符の音程の差を距離として定義し、同じ音名は距離0、半音違いは距離5、1音違いは距離10、2音違いは距離20等とする。⑥距離の算出。距離の定義に則って3曲間の相互距離を算出。⑦章の導入。3曲は4小節単位となっていてるので「章」という単位を特別に導入して、20小節を5章構成と定義し、3曲の相互距離を数値化した表に整理。各章の評価。3曲相互間の距離は、第1〜4章では、ばらついているので「狭霧」と「凱歌」の関係をこの距離関係から推論するのは難しいが、第5章では、「狭霧」と「凱歌」間の距離がゼロであり、「グルック」と「狭霧」及び「凱歌」との距離はそれぞれ160と3曲間の距離としては最大である点が特記される。このことから「狭霧」と「凱歌」のどちらかが相手を做った可能性が高いと推論される。⑧揺さぶり実験。物理学の世界で行われる素粒子の衝突による粒子の破壊による構造分析に倣って、「凱

歌」に少し外部から振動を与え、音符を揺さぶって変化させてみた時にどのような変化を試みる。すなわち、「凱歌」と「狭霧」間で相違する音を各章で一ずつ動かして一致させると第1章、第2章、第4章において、「凱歌」と「狭霧」の曲間の距離がゼロとなることが判った。筆者には難解。これに、はじめから距離ゼロの第5章を併せると両曲の80%がほぼ一致する結論になった。これと両曲の成立時期とを勘案すると「凱歌」は「狭霧」に倣ったと結論できる。一方、曲名という非常に大きなウェイトの項目において、グルックの「恋の凱歌」から能中では「凱歌」という名前を採り入れていることから、「凱歌」の作曲者が「グルック」の原曲に接触していた可能性を排除できない。と結論づけている。それに倣って、氏の分析と推論には敬服、感服、脱帽するのみである。理系の方なら、音楽という文系の事柄を文系の方顔負けの仕事をしてくださった。氏の精魂込めた分析と比較を讀ませて頂く。また、筆者も半端でない性分だと思っていたが、東大の方達のおやりになることは、更

に輪をかけて半端でなく完璧で、いたく感心した。

前述のⅢのように、能中OBの久喜健男氏によれば、現在の「凱歌・天馬空征く」はS9(1934)年入学時には応援歌として教えられた。当時のいきさつなどの記録があったもののやら不明であるが、残念ながら、能中はS19年2月に校舎を全焼している。

それにしても、いったいあなたが「凱歌」として編曲したのであるか。

島崎氏も述べておられるように、恐らく能中関係の方とは思われるが、永遠の謎となるのであろうか。

IX 河童踊の歌

一高・東大では「狭霧」の歌に続いて「河童踊の歌」を歌って実際に河童の格好をして踊るそう。筆者の案内が駒場寮で観たことがあると言っているが、筆者も能代会員も観たことがなかった。H30(2018)年10月24日のキャッスルホテル能代にての第60回能代寮歌では、島崎氏主導で、山成氏、加藤氏、岩澤諄和氏(東大工S41年卒)、町田武久氏(東大医S41年卒)・和子

夫人の6名が、舞台で河童の格好をして「河童踊」を披露してくださった。北羽新報にも写真付の記事が載った。なお、筆者はS35年弘前大医入学・S41年卒なので、4年制大学に換算すればS39年卒になる。ここに登場した東大OBの大部分の方々は筆者と同じ年齢か前後の方々である。

X 終わりに

島崎氏がH29(2017)年6月の第57回能代寮歌で「狭霧」と「凱歌」を聴いて「両者は微妙に違う」と言い出し、筆者は「長年の口伝、口伝なのだから、違うのは当たり前」と言った。島崎氏の半端でない執念と探究心によって、多くの東大OBの方々に働きかけ、我が校の「凱歌」の祖父的・祖母的ルーツが18世紀のオペラであったことが判明した。直接、間接を問わず、関わった東大の方々すべてに感謝申し上げてペンを擱く。

〔令和元年(2019)年6月脱稿〕

書道部顧問 平川 尚子
七月に佐賀県唐津市で開催されたが、総文書道部門に三年生の近藤吉晃君が県代表として参加しました。本県の生徒は県の高美展の出品作品より一回り大きな作品を書き直して出品する必要があります。近藤の負担となります。

君も代表に選出されてから、5ヵ月程をかけて作品を仕上げました。

作品は王鐸の臨書です。線の太さを変えて強弱をつけ、三行で書かれていて、作品を四行にして、縦に落とすようにして字の中心をずらし、空間を作ることによって、王鐸らしきものを出しました。審査員からも「線の太細と強弱により、気脈の充実した力強さ」との評価を得ました。

「全国」の高校生と交流し、優れた作品を鑑賞することで、「自分もこのような作品に挑戦したい」という新たな目標を立て、高校卒業後も書を続けていきたという思いを新たにしました。

短歌甲子園出場報告



文芸部部長 佐藤葉実



全国高等学校アマチュア無線連盟
無線部部長 佐藤葉実
無線部顧問 平俊太郎

無線部は、今年度第16回全国高等学校アマチュア無線連盟大会に出場しました。大会で、無線部顧問 平俊太郎先生から、無線部員一人一人に、無線の楽しさや、無線の歴史について、話を聞きました。

全国優勝を果たして

藤葉実が団体戦で詠んだ短歌が、話題作品賞をいただきました。今回の大会で、いろいろな高生の試合を見て、刺激を受けました。自分たちを見直して、課題を見つけることもできました。来年も出場できるような結果を得られるようにするために、今後も部員一同活動に励んでいきたいです。



短歌甲子園2019

令和元年 部活動大会結果

(体育局)

全国大会

選抜大会

柔道部 平成30年度 第41回全国高等学校柔道選手権大会 伊藤悠雅 2回戦敗退

○全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

体操部

男子団体総合 26位
(補欠) 腰山峻大
男子個人 相馬広夢・吹谷泰河・渡辺晃平・佐々木翼
芳賀研心・岩間一樹 予選落ち

男子個人 種目別 あん馬 相馬広夢 決勝進出

柔道部

国民体育大会

体操部

少年男子 秋田県 22位

相馬広夢・吹谷泰河・渡辺晃平・芳賀研心・佐々木翼

東北大会

体操部

第48回東北高等学校体操競技選手権大会

男子団体総合 2位

男子個人 相馬広夢・吹谷泰河・渡辺晃平・佐々木翼

(補欠) 腰山峻大

男子個人 相馬広夢・吹谷泰河・渡辺晃平・芳賀研心

佐々木翼・岩間一樹

種目別 あん馬 1位 相馬広夢

鉄棒 3位 吹谷泰河

第46回東北総合体育大会 体操競技大会

少年男子 秋田県 2位

相馬広夢・吹谷泰河・渡辺晃平・芳賀研心・佐々木翼

個人総合 6位 渡辺晃平

種目別 つり輪 3位 吹谷泰河

柔道部

第41回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会

男子団体 2回戦敗退 伊藤悠雅・櫻庭佑太郎・清水健也

加藤謙太郎・高橋瑞生・谷内哉斗・成田尊羅

男子個人 81kg級 3位 伊藤悠雅

第71回東北高等学校柔道大会

男子個人81kg級 2位 伊藤悠雅

陸上競技部

第71回東北高等学校陸上競技大会

男子400m障害 予選敗退 高山広夢

男子三段跳 8位 大谷航平

女子110m障害 予選敗退 小笠原美古都

剣道部

第65回東北高等学校剣道選手権大会

男子団体 予選敗退

相模宙・越後空・木樽秀介・西川暖・佐川晶哉・池田峻太・井上樹紀

女子個人 菊地希星 1回戦敗退

空手道部

第41回東北高等学校空手道選手権大会

男子個人組手 木村瑠生 初戦敗退

女子個人形 佐藤夏鈴 ベスト16

水泳部

第74回東北水泳大会

100M平泳ぎ・200M平泳ぎ 松尾拓 予選敗退

200M背泳ぎ 櫻田舜也 予選敗退

第27回東北高等学校新人水泳大会

100M平泳ぎ・200M平泳ぎ 松尾拓 予選敗退

100M背泳ぎ 櫻田舜也 予選敗退

50M自由形 阿部恵太郎 予選敗退

卓球部

令和元年度 第73回東北高等学校卓球選手権大会

男子ダブルス 長門幸輝・銭谷駿 2回戦敗退

軟式野球部

春季全県大会

1回戦 5-2 秋田

準決勝 1-5 能代工業

全国高等学校軟式野球選手権大会秋田県大会

1回戦 9-4 本荘 代表決定戦 15-3 能代工業

全国高等学校軟式野球選手権大会東北大会

1回戦 9-2 弘前工業

決勝 5-4 秋田工業

第64回全国高等学校軟式野球選手権大会

1回戦 2-4 大曲

秋季全県大会 2回戦 10-3 秋田商業

決勝 3-5 本荘

硬式野球部

春季東北大会

2回戦 5-8 能代工業

代表決定戦 13-0 十和田

24-3 花輪

春季全県大会

2回戦 1-0 本荘

準決勝 5-4 湯沢翔北

3回戦 10-0 大曲

春季東北大会

2回戦 1-8 東日本国際大学

決勝 3-6 明桜

全国高等学校野球選手権秋田大会

2回戦 6-4 秋田商業

3回戦 5-1 能代工業

4回戦 7-0 大曲

準決勝 0-10 秋田中央

秋季東北大会

2回戦 10-7 大館国際

決勝 5-6 秋田北鷹

秋季全県大会

2回戦 7-2 秋田工業

3回戦 1-9 秋田商業

〈文化局〉

全国大会

無線部

第16回全国高等学校ARDF競技大会

・スプリント競技 学校対抗 4位

女子個人 優勝 成田陽菜 4位 堀江優風 8位 大山紗輝

・クラシック競技 男子個人 4位 熊谷翼

女子個人 優勝 大山紗輝 4位 成田陽菜

2019全日本ARDF競技大会

W19スプリント 学校対抗 5位

個人 優勝 堀江優風 4位 大塚梨世 6位 大山紗輝 7位 池端咲紀

W19クラシック 学校対抗 3位 個人 優勝 大塚梨世

新聞部

第43回全国高校総合文化祭 2019さが総文 東未裕・山田明夏

書道部 第43回全国高校総合文化祭 2019さが総文 近藤吉見

囲碁将棋部 第43回全国高校総合文化祭 2019さが総文(第55回全国高等学校将棋選手権大会) 扇理板・加藤美羽・吉田小夏

文芸部

第14回全国高校生短歌大会

予選リーグ敗退 堀内和佐・鈴木結依・佐藤葉実 話題作品賞 佐藤葉実

理科科ロケット班

ロケット甲子園2019

2位 佐々木智敬・戸賀瀬裕和・富樫香乃・三輪修也・大和頼河



東京同窓会の 新たな試み

東京同窓会会長
三浦 洋 (45期)

令和元年度の総会・懇親会は10月5日(土)東京・千代田区アルカディア市ヶ谷にて、山田校長、伊藤総務主任、山本同窓会副会長、および能代工業高校東京支部同窓会東籟会、大館鳳鳴高校東京鳳鳴会から来賓の皆様をお迎えし、総勢90人が参加して盛大に開催されました。参加者には87期佐藤有希子さん、88期佐藤美那子さん姉妹が含まれており、「若手同窓会会員を対象とした同窓会活動参加促進事業」の最初の適用者となりました。

懇親会に先立ち、51期三浦基英氏による「DMOあきた白神ツーリズム ふるさとは何を目指すのか?」の講演があり、地元での奮闘ぶりを熱く語っていただきました。

その後、初参加者8人による自己紹介コーナー、続いてのアトラクションでは2年振りに復活した「松陵クワイヤ」が初演の「Every Praise」と十八番

の東京同窓会オリジナル版「秋田音頭」の2曲を歌いあげ、会場から大喝采を浴びていました。これに勢いづいたかのように会場内は熱気に包まれた雰囲気の中で時間が過ぎてゆき、最後は62期大高忠勉氏の前口上に続いて久々に応援歌「日本海」を、続いて「校歌」を全員で斉唱し、恒例の万歳三唱(49期片谷浩之氏)で締めくくり、成功裡に終了しましたことをご報告いたします。

最後に、本紙面を借りて今年の同窓会出席者の出欠確認方法について見直しを行いましたので、その内容について備忘録として記載します。



初参加者8人の自己紹介の様子
(50期山田校長を含む46～88期の皆さん)

ていましたが、今年は会費納入者と同様に会報を送付し、回答状況を見ることにしました。またホームページ・会報誌等に掲載しているメールフォームにリンクする出欠届け用のURLをQRコード化して掲載すること、スマホ利用者(若い世代)への訴求を試みると共に、Facebookの東京同窓会ページにアクセスしている同窓生への周知範囲を拡大する目的で有料サービスを初めて試みました。

その結果、オンラインによる回答が想定以上の76通(初参加者6人を含む)にも及んだこと、初参加者の掘り起こしにつながったこと、受け取り人払いの出欠葉書に本来要する費用(@77円×76通)5千852円と葉書の印刷費用の削減を生み出したこと等は直接的な効果として確認できました。また、即時に出欠情報がメールで届くので、関係者間での情報の共有化とその後の処理も効率よく行うことができました。

今後の同窓会運営は、従来の方法に加えてスマホ利用者を意識した方策を検討する必要があると実感させられた令和最初の同窓会でした。

秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧

同窓会本部のEメールアドレス
noshirohs-dousou@shirakami.or.jp

2019/10/31現在

名 称	所在地(事務局住所または会長宅)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期
本 部	能代高校同窓会 〒016-0184 秋田県能代市字高埜2-1 秋田県立能代高等学校内 http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	森田新一郎	40
支 部	東京同窓会 〒270-2212 千葉県松戸市	能高東京同窓会事務局 アドレス yohmiura@msn.com		三浦 洋	45
	秋田支部 〒010-0951 秋田市山王6丁目18-11	平川 信夫(36期)	018-863-3200 fax018-865-2632	平川 信夫	36
	県庁能高会 〒010-0951 秋田市山王4丁目1-2 秋田地域振興局 総務企画部	県庁能高会事務局 佐藤 徹(51期)	018-860-3312 fax018-860-3860	舩屋 修美	49
	北海道支部 〒060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目5-6 (株)雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉(58期)	011-272-3540 fax011-272-3550	佐藤 毅	50
	近畿支部 〒655-0002 兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長(29期)	078-794-0998 fax 電話と同じ	平川 長	29
	二ツ井支部 〒018-3104 能代市二ツ井町字沢口82-40	事務局 小林 勝幸(47期)	0185-73-3935 fax 電話と同じ	丸岡 一直	40
	藤里町松陵会 〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字家の後67	事務局 川村 千昭(48期)	090-9530-7880	(未定)	
	松陵津軽会 〒038-2206 青森県西津軽郡深浦町大字松神字下浜松1-1	田口 彰(35期)	0173-77-2322 fax0173-77-2676	田口 彰	35